

# 環境と健康



## シンポジウム 脱温暖化はコミュニティからの発信が必要

### 第49回広島県公衆衛生大会

第四十九回広島県公衆衛生大会が十月二十四日、北広島町千代田開発センター（山県郡北広島町有田）で開催され、広島県内から公衆衛生推進委員や行政事務担当者など約六百人が参加した。

式典では、県知事、県医師会長、環境協より公衆衛生活動において多大な成果をあげた三十五個人七団体の功績を称え、表彰状が授与された（被表彰者は四面参照）。

次に、地区衛生組織代表者会議の宮本英暉議長によ

る大会宣言が読み上げられ、あらゆる主体の連携による脱温暖化のまちづくりの推進、「健康ひろしま21」に基づく健康づくり県民運動の推進、などを含む六つの活動項目が会場の大きな拍手とともに採択された。

この六項目は、向こう一年の地区衛生組織の実践活動の柱となる。

今回の大会では、「環境啓発ポスター・標語コンクール」の優秀作品表彰式を



実施。環境啓発ポスター・標語コンクールは、当会の「地域活動支援基金」を活用した事業の一環であり、

今年のはじめに実施したものの、各市町公衛協が小・中学校を対象に「地球温暖化防止」をテーマに募集したポスター・標語から、選考委員会を通じて優秀作品を決定した。大会では、最優秀賞ならびに優秀賞を受賞した作品を紹介した後、受賞した児童・生徒にはトロフィーと記念品が授与された。

### 開催地北広島町の児童がオペレッタ披露

昼食時に行われたアトラクションでは、北広島町立雲月（うづつき）小学校児童によるオペレッタ「雲月の宝」が披露され、歌と劇を通じて地元の自然や生きものを守っていくことの大切さを、全校児童一丸とな



トロフィーを受け取る受賞者

て会場へ訴えた。

午後からは、「脱温暖化に向けたコミュニティの役割を探る」と題してシンポジウムを開催。第一部では、国立環境研究所地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長の江守正多氏が

「地球温暖化の現状と将来予測（要旨は二面参照）」と題して基調講演、コンピュータによるシミュレーションで分かる温暖化の深刻な現状について話された。

基調講演を受け、第二部では、脱温暖化社会づくりに向けたコミュニティの役割について考えるパネルディスカッションを実施。江守氏、気象予報士の波田健一

氏、脱温暖化めまくまふフォーラムの岡田妙子氏、北広島町公衛協の宮本英暉氏がパネリストとして登場し、それぞれの視点から意見交換を行った。

パネルディスカッションでは、近年の北広島町内や広島県内で感じられる温暖化の影響を写真やグラフで紹介。また、パネリストによる脱温暖化の実践活動の発表を通じて、公衛協や地

方丈記の「ゆく河の流れは絶えずして」にもありますが、この世に変わらないものは何一つなく、変化こそが本質であると思われまふ。川面に波立つ水面の動き、風にそよぐ葉の揺れ、時々刻々変化する為替レート、しかし、変化と一口に言っても、そのあり方はさまざまです。学問として定量的に扱えるのは、あくまでもこの底流を流れる平均的振る舞いであるということ

を思い出さねばなりません。近年大いに発達した金融工学には中央極限定理という大前提があり、一定期間の無数の投資行動による平均利益を最大化しようとする試みです。今回、大量の投機的資金が流れ込んだ段階でその前提が崩れていたものと思われまふ。一九九〇年代終り頃の日本のバブル最盛期では日本の株式時価総額でアメリカの土地が全部買えると

か、あり得ない状態になりました。また、ガソリン価格に見られたような昨年来の原材料価格の高騰も異常でした。いずれも冷静になってみれば、そのような状態が長続きするはずがないのです。アメリカのオバマ次期大統領は、十一月十八日、就任後京都議定書に定められた排出量取引を開始し、二〇一五年までに温室効果ガス排出量を一九九〇年比、八〇%削減との目標を発表しました。今回の景気減速を踏まえての発表と見られます。ま

## バブルと環境

た、国内では炭素クレジット制度がスタートし、益田医師会病院と中国電力の契約が報道されたところ。個々の企業や自治体などの省エネ・省資源に対する地道な取り組みが、やがては日本の国力を支えることになりまふ。今こそ環境基礎研究の大切さを改めて認識したいものです。

(広島修道大学副学長 廣光 清次郎)

今年のはじめに実施したものの、各市町公衛協が小・中学校を対象に「地球温暖化防止」をテーマに募集したポスター・標語から、選考委員会を通じて優秀作品を決定した。大会では、最優秀賞ならびに優秀賞を受賞した作品を紹介した後、受賞した児童・生徒にはトロフィーと記念品が授与された。

「健康ひろしま21」に基づく健康づくり県民運動の推進  
3. 生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進  
4. 環境学習・健康学習の学社融合的取り組みの推進  
5. 家庭ごみの減量とリユース・リサイクルの推進  
6. 上記の1～5を実現するためのコミュニティ組織の拡充

### 大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、50年の歴史の中であらゆる主体と協働しつつ、自主的・組織的な実践活動とおして、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。しかし、快適で健康な生活を維持するうえで、地球環境問題や少子高齢化の問題など、深刻かつ緊急を要する課題は後を絶ちません。

私たちは、新たな課題にも積極的に対処しながら、人々がより快適に、健康やかに生きられる、活力あるコミュニティの実現をめざし、これまでも増して地域リーダーとしての機能を発揮していかねばなりません。

そこで、「健やかな暮らしをつくる人々の集い」をテーマに開催するこの大会を契機に、次の6つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けて邁進することを宣言します。

1. あらゆる主体の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
2. 「健康ひろしま21」に基づく健康づくり県民運動の推進
3. 生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
4. 環境学習・健康学習の学社融合的取り組みの推進
5. 家庭ごみの減量とリユース・リサイクルの推進
6. 上記の1～5を実現するためのコミュニティ組織の拡充

平成20年10月24日

第49回広島県公衆衛生大会

## 環境と保健の未来をめざして 財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 (広島県公衆衛生会館)  
TEL (082) 293-1511 大代表 FAX (082) 293-1520

(財) 広島県環境保健協会・・・<http://www.kanhokyo.or.jp>  
脱温暖化センターひろしま・・・<http://www.kanhokyo.or.jp/ondan/ondan.html>  
広島転倒予防研究会・・・<http://www.kanhokyo.or.jp/tentou/>  
広島県禁煙支援ネットワーク・・・<http://www.menet.gr.jp/kin-en/>

